

ロタウイルス腸炎と予防ワクチン

ロタウイルス腸炎は冬季における、乳幼児の嘔吐・下痢症の中で最も多い腸炎です。
5歳までにほとんどのお子さんが初感染を経験します。
年間80万人のお子さんが感染し、約10%が脱水や合併症のために入院します。
生後6ヶ月から2歳までに病気にかかり重症化しやすいのです。
冬の終わりから春まで流行します(3-4月ピーク、5月連休まで)。
潜伏期間は約2日(3日以内)です。
突然始まる吐き気、嘔吐に下痢を伴います。
ノロウイルスよりも発熱を伴う場合が多く、重症化する率が高いです。

※合併症:最も多いのは下痢による脱水症です。
頻度が高いのはけいれんです。その他脳炎・脳症も有名です。

日本でもやっとロタウイルスワクチンが発売になり、接種可能となりました。

現在世界120ヶ国以上で使われており、インフルエンザワクチンと同様に重症化を予防するワクチンです。
ロタウイルスは初感染の症状が最も重くなる例が多く、感染を繰り返すうちに軽症になります(免疫力が強化される)。
ですから、生後6週から24週の接種期間でワクチンを接種して重症化を予防しようという作戦です。
年齢が高いお子さんに接種すると腸重積という病気の発症が増えたという過去のデータもあるため安全性を高めるために決められた年齢のお子さんにしか接種できません。
生後2ヶ月からはヒブ、肺炎球菌、3ヶ月からは三種混合とワクチンスケジュールがぎっしりとつまっています。
BCG以外なら、どのワクチンとも同時接種可能です。
例えば:ヒブ+肺炎球菌+ロタ とか、三種混合+ロタ とかでも良いです。
同時接種をうまく利用して抗体をつけると賢いです。
年齢的あるいは都合により1回しか接種できなくとも、予防効果はあります(もちろん2回接種が一番良いです。)
2回接種により生後2年間にわたり高い継続的予防効果があります。

- ①ワクチンスケジュール 生後6週から24週まで
1回目接種は4週間以上間隔を開ける
- ②経口ワクチンです。
- ③1回 13,000 円です。

※ワクチンスケジュールがわからない時は気軽に相談してください。



二日酔いに効く漢方薬

- ①五苓散(ごれいさん)
- ②半夏瀉心湯(はんげしゃしんとう)
- ③黄連湯(おうれんとう)

※「二日酔い」という病名が保険で通っています。
これからの季節に飲みすぎってしまった時によく効きます。

診療の案内

年末は12月29日(木)午前まで外来診療致します。
年明けは1月4日(水)から開始します。